



つくし会が企画！ ハロウィンパーティーが開催されました

10月22日（日）中央公民館大ホールを会場に、高校生ボランティアサークル「つくし会」によるハロウィンパーティーが開催されました。
つくし会の皆さんは、個性的な衣装に身を包み約50名の参加者を迎えました。参加者の中には仮装して来場したお子さんもいて、ハロウィンらしい雰囲気の中でイベントが行なわれ、会場は盛り上がりを見せました。

大産業まつりが開催されました

10月22日（日）、役場駐車場を会場に「最上町大産業まつり」が開催されました。
オープニングセレモニーでは、最上中学校吹奏楽部の演奏がまつりに華を添える中、ご来賓の方より大福もちのプレゼントが行われました。
また、県内外から農産物や飲食店・クラフト雑貨等約30店舗が出店し、まつりを盛り上げました。特に、友好都市である大船渡市からはホタテ炭火焼の出店もあり、地域の枠を越えた交流が行なわれ、会場は絶えずお客さんで賑わっていました。



ひまわり大楽で 県内視察研修が行なわれました



10月17日、富沢地区ひまわり大楽による米沢方面視察研修が行なわれ、上杉博物館見学や、染織工房わくわく館では「紅花染め」を体験しました。割り箸や洗濯ばさみ等で模様づくりした無地のハンカチを紅花の染料に浸すことで色鮮やかなオリジナルハンカチが完成し、その出来栄に皆満足げな表情を浮かべていました。
また、10月27日には向町地区いきいき大学による庄内方面視察研修も行なわれ、防災学習館では消火体験や過去の災害記録映像を見ることができ、有事の際に自らの命を守る基本行動を改めて学べる大変有意義な研修となりました。

町民グラウンドゴルフ大会が開催されました (2023最上町長杯)

10月18日（水）、40名の参加者による「2023 最上町長杯 町民グラウンドゴルフ大会」が、もがみ西公園多目的グラウンドを会場に開催されました。ホールインワンが12個、優勝した齊藤さんと準優勝の菅さんとのスコアが1打差という全体的にレベルの高い試合がくりひろげられ、参加者の皆様の日頃の練習成果が存分に発揮された大会となりました。大変、お疲れ様でした。



優勝	齊藤 好雄	(清水町)	4位	牧 察雄	(月 橋)
準優勝	菅 キツ子	(東法田)	5位	中嶋 義春	(向 町)
3位	細矢 文敏	(向 町)	6位	福井 守	(白川端)



カーブミラーを 寄贈していただきました

もがみ中央農業協同組合と全国共済農業協同組合連合会山形県本部より、町に4基のカーブミラーが寄贈され、11月1日には、もがみ中央農業協同組合の押切安雄代表理事組合長が役場を訪れ、町長へ目録が手渡されました。このカーブミラーは、両団体が交通事故防止対策事業の一環として、県内すべての市町村に寄贈しているものです。町では、カーブミラーを見通しの悪い場所に設置し、交通事故防止に役立てていきます。たいへんありがとうございました。

やまがた暮らしプチ体験を実施しました

県の「やまがた暮らしプチ体験事業」第2弾として、10月下旬より2週に亘り株式会社もがみ木質エネルギー（下山邦彦代表取締役）の下で、埼玉在住の方1名が最初の週に、東京と長野在住の方2名が次の週に町に1週間滞在し、植林を行ないながら移住体験を行ないました。この事業は「Timee トラベル」を活用したもので、先月号で紹介した事業に引き続き実施いたしました。
参加者からは「自分が経験したことのない分野を経験したかったので参加した。町の方のやさしさに触れてまた最上町に来たいと思った」という声を頂きました。この企画に興味のある事業所がありましたら、まちづくり推進室までお問い合わせください。



芋煮づくりを頑張りました！ (第5回ワイルドエドベンチャースクール)



第5回ワイルドエドベンチャースクールが、10月21日におらだの川公園キャンプ場を会場に実施されました。今回のテーマは芋煮づくりで、主役の里芋は今年の春に皆で泥だらけになり植えた苗が成長したものを使用しました。里芋独特のヌルヌルした感触に手を滑らせ、序盤は皆皮むきに苦戦しましたが、徐々に慣れて終盤にはたくさん皮をおけるようになりました。苦勞して作り上げた芋煮の味は格別で、美味しく3回もおかわりする児童もいました。この年間の活動を通じ、作物を育てる楽しさやご飯を作る難しさを学んでいただけたらと思います。

国民スポーツ大会に向けて機運を高める 町民の集いが開催されました

来年2月に赤倉温泉スキー場で開催される、第78回国民スポーツ大会冬季大会アルペン競技会に向けて、成功への機運を高める「町民の集い」が10月21日、最上町中央公民館で開催されました。
同イベントでは、町のスキー強化指定選手18名を支援する町内12企業も紹介され、大会での躍進と成功に向けて激励の意が贈られました。大会は令和6年2月22日から24日までの3日間、開催されることとなっています。



縄文文化の謎に迫る！^{ざいもく}材木遺跡発掘調査



9月から10月にかけて、町内黒沢に所在する縄文時代晩期（約2500年前）の遺跡「材木遺跡」において発掘調査が実施されました。この調査は明治大学黒耀石研究センターの栗島義明氏を主体としながら、三澤裕之氏（秀明大学）や町教育委員会、黒沢地区等の町民有志らが共同で作業を進めているものです。材木遺跡は昭和48年にも小規模な発掘調査が実施され、多くの土器・石器類が出土しています。その後も遺跡の表土からは緑色の石材を用いた勾玉等の装身具が採集されることで知られておりましたが、石材鑑定によればそれは翡翠ではなく「緑色石英」と呼ばれる全く新たな存在として認知されることとなりました。現地石材を用いた装身具製作は全国的にも珍しく、仮に本遺跡での加工痕跡や実態が解明できれば、当時の交易や物流といった経済活動を探るうえで極めて重要な装身具の生産遺跡（攻玉遺跡）として今後注目される可能性があります。広報もがみでは調査結果が明らかになり次第、内容をお伝えしていきます。発掘作業にご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

宝くじの社会貢献広報事業で 防災資機材を整備

黒沢自主防災会では、宝くじの社会貢献広報事業として一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業【自主防災組織育成助成事業】の助成金により、防災資機材を整備しました。



- ◇事業主体 黒沢自主防災会
- ◇助成額 200万円
- ◇事業期間 令和5年6月1日～令和5年10月2日
- ◇事業内容 防災倉庫他防災資機材の整備
防災倉庫1棟、消防ホース48本、管そう取手付16個、クイックテント4張等

今回整備したのは、防災倉庫をはじめとする各種防災資機材です。いつ訪れるかわからない地震等による災害に備えるべく、宝くじ事業の補助金を活用して整備を行いました。老朽化の進んだ各種資機材を更新することで、災害時への備えと共に、地区全体の防災の意識が高まり、日頃から実施している防災訓練の充実化にも繋がりが、交流と親睦が深められることで、将来への地域力の強化にも大きな期待が寄せられます。



栄 養関係功労者厚生労働大臣表彰を受賞



受賞した野口信子さん（新田）

最上町食生活改善推進協議会会長の野口信子さん（新田）が、永年の栄養・食生活改善活動に尽力し、その向上発展に寄与した功績が評価され、令和5年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰を受賞されました。

郷土料理や豊かな食文化を後世へ伝えるため、郷土の食文化教室の開催や、子どもの頃からよい食習慣づくりのための食育活動をされてきました。また、生活習慣病予防のための薄味・減塩の指導、サロン活動へ出向き軽体操や調理実習を実施されました。今後も、幅広い年代へ向けた地域の食生活改善や健康づくり活動を牽引して下さる事を期待しています。

この度の受賞、誠にありがとうございます。

100歳おめでとうございます！

100歳を迎え、町より長寿のお祝いが贈呈されました。この度は誠にありがとうございます！

引地 トミエさん

引地さんは、現役の頃にはなめこ栽培をされており、重い荷物を背負いながら毎日のように山に通われていたとても元気な方でした。家族だけではなく、親戚の方々にもとても親切にされており、甥や姪からも引地さんは母親のように慕われていたそうです。

面倒見がよく、気配りのできるとても心優しい方で、そのお顔からも人柄を感じ取ることができました。



薬王堂と一緒に働きませんか？

山形最上店
YAKUODO 薬王堂
スタッフ募集中！
従業員優待
いつでもWA!CAポイント5倍
賞与支給あり

ライフスタイルに合わせてシフトが選べる！

下記お問合せ先または採用HPからお気軽にご応募ください。

〈お問合せ先〉
TEL 0120-901-815

スマホから
簡単応募



〈採用HP〉
<https://www.yakuodo.co.jp/recruitment/>

社会福祉法人 豊寿会
HOJIKAI

スタッフ大募集

就職支度金制度あります
令和6年度大幅基本給アップ予定
紹介者への報奨制度あり
未経験者大歓迎

★詳しくはこちら法人採用情報HP

〈勤務先〉 紅梅荘・ふれあい学園・やすらぎ・さくら
〈募集職種〉 介護員・支援員、看護職員

お問合せ先 法人事務局：紅梅荘
TEL：0233-43-3661 FAX：0233-43-3663